



黒字を生み出すパートナー

NICS JAPAN

総合案内

しなやかに強く歩む ともに拓く未来へ

The “Stay Ahead” Construction Management System

「Stay Ahead」には2つの意味があります。ひとつは「競合相手より前の位置をキープする」という意味。もうひとつは、現場の工程や様々な問題を常に把握する「現場の問題を先読みする」という意味があります。それぞれ違った角度からマネジメントシステムの魅力を表現しています。

未来の扉をともにひらく

建設産業の人手不足の時代を勝ち残っていくための鍵。

それは、現場管理の重視、現場を支えるマネジメントの強化です。

現場管理を整備することで、企業に高収益体質を作り上げ、人材の確保・定着につなげます。

弊社では、高収益企業づくりのためのシステムの構築・コンサルティングをワンストップで、お応えできる体制を整えています。

ISO9001取得支援やIE(生産工学)、PM(プロジェクトマネジメント)の知識と

建設業各社様の支援の経験と創造力で

建設会社様の悩みをともに考え、未来の扉をひらいていきます。

そのさきのみちへ

ニックスジャパン株式会社は、1996年7月に建設産業および製造業の経営の高度化を目的として、設立しました。

設立当初には、建設産業の品質の高さを証明するシステムにしたいとの思いで、ISO9001(品質に関わる国際標準規格)の認証取得支援を行ってまいりました。弊社が認証取得支援させて頂いた企業は、100社に及んでおります。

次にこれらのISO9001認証取得企業様に対して、さらなる高度化を目指し、IE(Industrial Engineering:生産工学)及びPM(Project Management)の手法を用いて、現場から、経営トップに至るまでのマネジメントシステムの効率化等の業務改善を行っています。

現在、第3ステージとして、業務改善を行い、マネジメントシステムの高度化に取り組んでいる企業様に対して、マネジメントシステムの高度化・IT化を提唱しています。

このように当社と致しまして、経営の高度化に関わる経営コンサルティングからシステム開発まで一貫した体制を整え、お客様とともに成長する企業でありたいと考えています。



代表取締役 野口 道孝

ニックスジャパンにおける 事業構想



ロボット開発



AI



通信制御技術の開発



計測機器の開発



省力化機器の開発

製品・サービスのご案内

◆ MIYABI

実行予算管理、原価管理、支払管理を統合し大幅に業務効率化を達成します。



◆ e-番割

翌日の作業予定表をデジタル化しました。どこからでもPC・スマホがあれば、人員、機材の変更を簡単に行えます。



◆ KUROJIKI

工事作業日報を基に、日々の工事原価を把握します。「e-番割」と連動することにより人員、資器材の情報を自動で得ることができます。



◆ コンサルティング

効率的なシステムが最大効果を発揮する様に運用支援をします。



お客様の繁栄を通して、さらなる未来へ共に成長していきます。

超少子高齢化社会を迎え、国内では労働人口の減少が喫緊の課題となっています。とりわけ建設業においては人手不足が慢性化しており、状況打開のためにはさらなる業務効率化・省力化が求められます。

ニックスジャパンでは、そうした社会環境の求めに対応するために、IE (Industrial Engineering=生産工学) およびPM (Project Management=プロジェクトマネジメント) の手法を用いて、現場から経営トップに至るまでのマネジメントシステムの効率化などの業務改善を提案。さらにマ

ネジメントシステムのIT化を目指し、建設現場管理の高度化を図るために、PM(プロジェクト・マネジメント)に基づく実行予算管理システムを多くの上場企業さま、地方の有力企業さまにご採用いただいています。

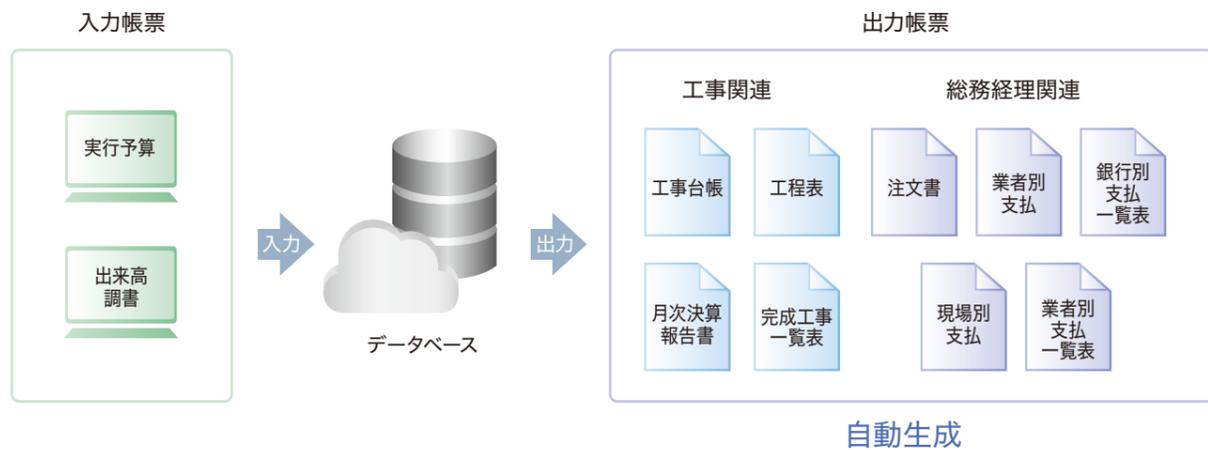
私たちは、経営の高度化に関わる経営コンサルティングからシステム開発/DX の活用まで一貫体制を整え、お客さまとともに進化する企業でありたいと考えています。そして、若者たちが建設業界にあこがれ、また希望を持てる建設業界を皆様とともに築いていきます。

不採算工事! 二重入力! すべてを解決!! 現場効率化支援システム

MIYABI

長年、建設業の経営コンサルティングに従事している元建設技術者の監修のもと、多くのお客さまの意向を反映させながら開発したシステムを外部販売用に構築。さらにPM(プロジェクトマネジメント)の機能を追加しました。エクセルの使い勝手の良さを生かしながら、データベースシステムとして揺るぎない信頼性を確保しています。

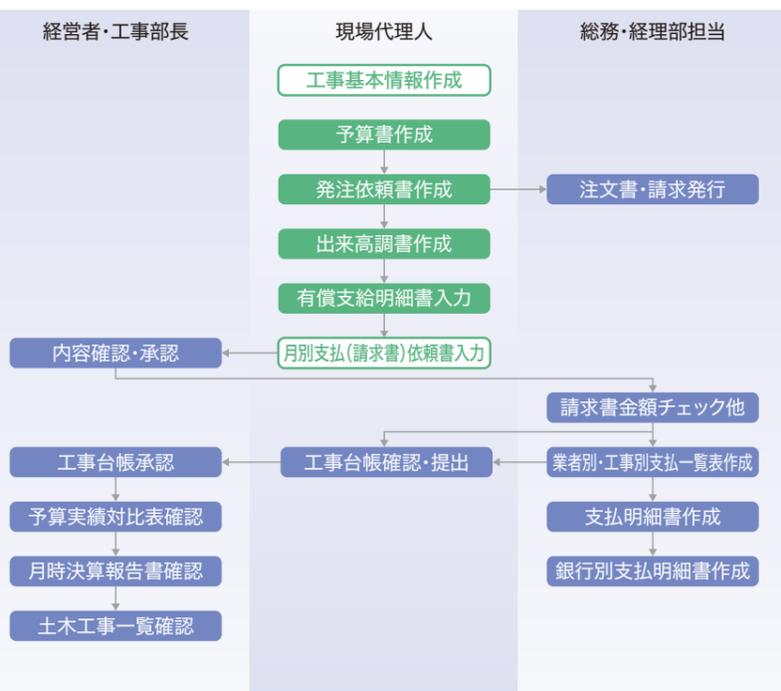
システム統合イメージ



工事フロー



プロセスフロー



□ …必須入力 ■ …入力 ● …出力

Point 統一したフォーマットへ直感的に入力、評価

エクセルと同じ様な操作感で、予算書を作成。総括表で工種を選択すると内訳表、一位代価表、二位代価表とリンクし、簡単に予算書を作成できます。また、社内全員で同一フォーマットで、指定箇所に入力をするので、全員が同一基準による評価・判断ができます。



実行予算書 入力画面

Point 注文書の発行管理が簡単!

予算書を作成した時点で注文書の発行依頼が完了しています。工事部長・社長が承認すれば注文書発行部署にデータが送られるので、書類なしで注文書の発行を依頼することが可能です。注文書発行部署は一覧表で発行済、未発行がひと目で確認できるので、重複発行のミスも削減できます。今までの発注管理業務が不要となります。



発注依頼書作成一覧 画面

Point 工種別残予算管理も簡単!

予算書から工種別予算金額と月次支払い依頼書から実績原価を読み込み、比較をします。当月の原価と累計の原価を対比して表示し、工種別の残予算がひと目でわかります。



月次工事台帳 画面

Point 支払管理業務や支払明細作成もやっぱり簡単!

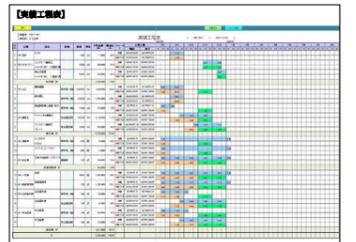
現場代理人が原価データを入力をした時点でこの支払業者別工事別請求一覧に反映されます。総務担当者は毎月の支払い先別の金額がわかるだけでなく、現場別での金額も把握することが可能です。また、総務・経理担当者は請求書と照合をするだけです。あとは、MIYABIが手形処理・安全協会分担金の計算・振込手数料も計算してくれます。

| 業者名 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 業者A | 1,000,000 | 1,500,000 | 2,000,000 | 4,500,000 |
| 業者B | 500,000 | 800,000 | 1,200,000 | 2,500,000 |
| 業者C | 300,000 | 400,000 | 500,000 | 1,200,000 |
| 業者D | 200,000 | 300,000 | 400,000 | 900,000 |
| 業者E | 100,000 | 150,000 | 200,000 | 450,000 |
| 業者F | 50,000 | 70,000 | 100,000 | 220,000 |
| 業者G | 20,000 | 30,000 | 40,000 | 90,000 |
| 業者H | 10,000 | 15,000 | 20,000 | 45,000 |
| 業者I | 5,000 | 7,000 | 10,000 | 22,000 |
| 業者J | 2,000 | 3,000 | 4,000 | 9,000 |
| 業者K | 1,000 | 1,500 | 2,000 | 4,500 |
| 業者L | 500 | 700 | 1,000 | 2,200 |
| 業者M | 200 | 300 | 400 | 900 |
| 業者N | 100 | 150 | 200 | 450 |
| 業者O | 50 | 70 | 100 | 220 |
| 業者P | 20 | 30 | 40 | 90 |
| 業者Q | 10 | 15 | 20 | 45 |
| 業者R | 5 | 7 | 10 | 22 |
| 業者S | 2 | 3 | 4 | 9 |
| 業者T | 1 | 1.5 | 2 | 4.5 |
| 業者U | 0.5 | 0.7 | 1 | 2.2 |
| 業者V | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 0.9 |
| 業者W | 0.1 | 0.15 | 0.2 | 0.45 |
| 業者X | 0.05 | 0.07 | 0.1 | 0.22 |
| 業者Y | 0.02 | 0.03 | 0.04 | 0.09 |
| 業者Z | 0.01 | 0.015 | 0.02 | 0.045 |

支払業者別工事別請求一覧 画面

Point 分析結果が見やすい画面構成

計画工程表や実績原価情報(請求書等)を基に、実績工程表を自動生成します。各工種に、上段に計画(青)、下段に実績(オレンジ)・予測(緑)を配置しています。ひと目でわかりやすいシンプルなレイアウトです。(オプション機能)



実績工程表 画面

Point EVM 理論を基に将来予測。毎月、問題点を確認・発見!

プロジェクトマネジメントにおけるEVM 理論を基に将来予測を行い、予算、出来高、原価を分析することで、月次の金額に換算した工事の進捗状況が把握できます。予算に対する出来高・原価を日々算出して対比することにより、工事の進捗状況をモニタリングでき、現場の問題点を工事部では工事施工体制の見直し、総務部では、資金繰り表等に活用し、会社の問題点がないか、確認・発見することができます。今後はAIの導入も検討しています。



全社売上予算原価総括表 画面

他にも機能が充実しています。詳しくはHP (<https://www.nics-japan.com>)をご覧ください。

現場・現場に確認しなくても、もう大丈夫! タッチパネル式の番割表

シンプル! 圧倒的な使いやすさ! 工事日報原価管理システム

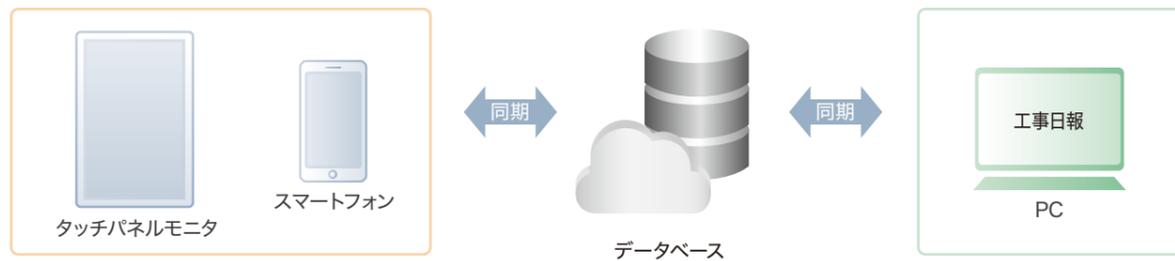
e-番割

KUROJIKA

タッチパネルでマグネットを貼り付ける感覚で、作業予定を作成できます。現場だけでなく、本社内や遠隔地の支社でも情報を共有することができます。メールやグループウェアなどを閲覧するために本人がアクションをとる必要がなく、常に目に触れる環境で情報を発信することができるので、より周知徹底が可能になります。

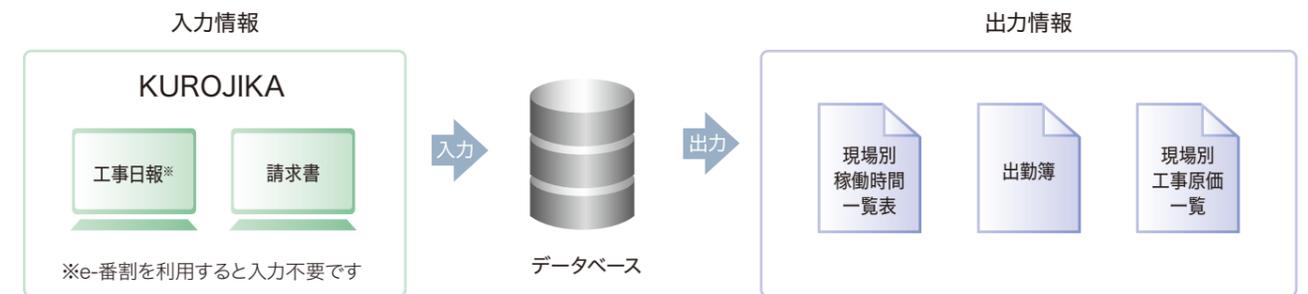
専門工事業の現場の稼働時間情報などを収集分析し、生産改善を図るために開発されたシステムです。作業日報を入力するとデータベースにデータが格納され、現場別稼働時間一覧と出勤簿を作成。入力作業をシンプルにすることで正確性を確保し、合わせて将来的に拡張機能を持たせることも可能としています。

システム構成図



クラウド上に専用のデータベースを配置し、PC(OS: Windows10以上)、タッチパネルモニター(通常のモニターも接続可、操作不可)、スマホ(iPhone、アンドロイド)の各デバイスからクラウドにアクセス(URL接続)することによって、自由に操作できます。

システム構成図



工事日報を入力すると、現場別稼働時間一覧表、出勤簿、現場別工事原価一覧表を出力します。「e-番割」と連動すると、工事日報入力が不要となり、大幅な業務効率化となります。



これまで、ホワイトボードで行われていた機械、人員、材料の番割を電子化することで、クラウド上のデータベースに記録に残し、作業の効率化を図ります。スマホでの共有も可能です。また、KUROJIKA の拡張機能としてe番割を使用すれば、日報の入力も不要となり、さらなる業務効率化も可能になります。

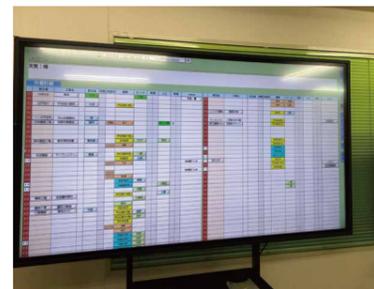
各デバイス使用例

PC画面例 (OS: Windows10以上)



建設会社様の実際の導入例です。

タッチパネルモニター画面例 (通常のモニターも接続可、操作不可)



建設会社様の実際の導入例です。

スマホ画面例 (iPhone、アンドロイド)



スマホでも操作可能です。データを工事日報原価管理システムに取り込むこともできます。

e番割+KUROJIKA 連携イメージ

e-番割



PC画面



タッチパネルモニター



スマホ

データベース



KUROJIKA

| 元請期間 | 16 | 17 | 18 | 20 | 21 |
|---------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 工事名 | 本 | 金 | 土 | 日 | 月 |
| (現場管理) | | | | | |
| (オペレータ) | 2,500 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 |
| (機業) | 3,125 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 |
| (機業) | 2,500 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 |
| (機業) | 3,125 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 |

現場別稼働時間一覧表画面(部分拡大)
現場別の人員ごとの稼働時間を表示します。お客様(元請)の締日に対応します。

| 現場名/有休等 | 12/16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|---------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 有休/振替 | | | | | | |
| 合計 | 0.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 |
| 時間外 | | | | | | |
| 日曜 | | | | | | |
| 深夜 | | | | | | |
| 日曜深夜 | | | | | | |

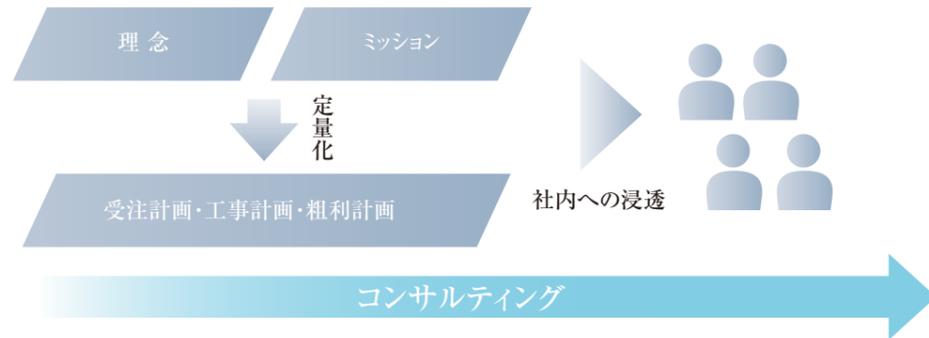
出勤簿 画面(部分拡大) (e-番割 拡張機能)
一人ひとりの稼働時間を集計します。年間休日カレンダーにより休日設定できます。

| 工事原価 | 金額 | 原価 | 原価 |
|--------|-----------|------------|----|
| 原価率 | 284,420 | 1,143,280 | |
| 原価率(%) | 1,411,700 | 2,281,216 | |
| 原価率 | 440,000 | 1,143,280 | |
| 工事原価率 | 1,141,700 | 1,411,716 | |
| 原価率 | 440,000 | 1,143,280 | |
| 社員(本部) | 440,000 | 1,143,280 | |
| 社員(現場) | 200,000 | 2,281,216 | |
| 社員(委託) | 1,914,000 | 1,914,000 | |
| 下請工事代 | 1,825,000 | 1,784,700 | |
| 材料費 | 1,247,070 | 1,080,838 | |
| 燃料費 | 24,200 | | |
| ダンク | 18,170 | 11,828,411 | |
| ガソリン代 | | | |
| 燃料費 | | | |

現場別工事原価一覧画面(部分拡大)
上記稼働時間一覧表及び受取請求書をもとに月毎の原価を集計します。

全社員にマネジメント意識を 社内が動く、強い組織に

コンサルティング



事業計画書の策定支援 成長し続ける企業には確固たる"経営理念"あり



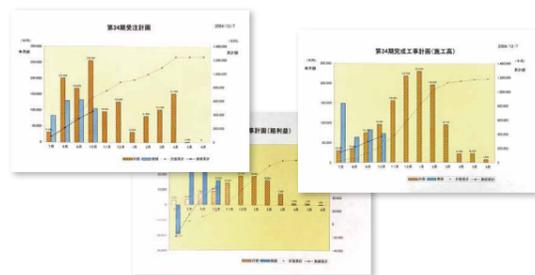
事業承継や組織拡大などにより理念の見直しや再定義を考えている経営者に向け、理念の策定支援サービスを行っています。



企業理念には経営者の人生観が反映されるといっても過言ではありません。経営者へのヒアリングやディスカッションを行い、自社の強みや課題を抽出。達成したいことを明確にしたうえで、理念およびミッションを一緒に策定していきます。

また「人間力を養う」ワークショップでは、策定した理念を従業員に浸透させるための支援も行っています。

全社目標管理の導入サポート 計画の数値化! 会社全員のための航海図を作ります



お客さま企業の現状・実態を数値として「見える化」し、企業の「進むべき方向」(目標)を明らかにします。さらに実行可能な目標までのルートを描き、実現するための戦略マップを経営者とともに策定していきます。

MIYABI・KUROJIKI 効率的運用のためにサポートしています。



弊社システム「MIYABI」「e番割」「KUROJIKI」を運用することによって、大幅な業務効率化を達成することが可能です。しかしながら、システムに入力し帳票を印刷するだけでは、十分にシステムの機能を使いこなしていることになりません。弊社システムでは、PM(プロジェクトマネジメント)理論を基にした多様な工事分析資料を出力しています。この工事分析資料を活用することによって、マネジメントサイクル(計画・実施・差異分析・アクション)を実施し、目標利益に確実に到達できるようになります。また工事分析資料の読解力によって、問題点の課題・本質を掴めるようになります。弊社の運用コンサルティングでは、実際に運用されているシステムを利用し、PMに基づく問題点を探るポイントを指導します。机上の空論ではなく、実際に運用されているデータに基づき、PMの理解を促していくので、理解力が格段に向上します。そして、工事結果資料をどのように紐解き、問題点を探っていくのか、その発見を大切にしています。

企業研修 個人の能力を高めることで組織にイノベーションをおこします。

考える力を高める



発想を形にし、実行する力を身につける

発想をふくらませアイデアを量産する方法から、具体的なアイデアに落とし込む手法まで、情報をカードに記述して分類・整理・分析するKJ法を取り入れたワークショップを行います。各グループに分かれて、テーマごとにアイデアを出し合い、整理し、分析。具体的に実現するためのプロセスを実務ベースに落とし込み、会社に提案・提言します。

- 最低催行人数 16名
- 想定研修時間 4時間程度(年2回程)

人間力を養う



人は何のために働くのか?を究極まで問う

自社の企業文化をただ知識で理解するだけではなく、自分の人間力に気づき、それを組織の中で生かしていく。そのためには社長と同じ立場になって、会社を通して本当に自分自身がやりたいことは何か。どうになりたいか。自分自身を見つめ直し、人生観を再確認するワークショップです。

- 最低催行人数 16名
- 想定研修時間 4時間程度(年2回程)

☎お電話でのお問い合わせ

03-5830-3570

✉メールでのお問い合わせ

info@nics-japan.com

商品参考ページ

◆MIYABI

<https://www.nics-japan.com/miyabi/>

ニックスジャパン MIYABI

◆e-番割

<https://www.nics-japan.com/e-banwari>

ニックスジャパン e-番割

◆KUROJIKI

<https://www.nics-japan.com/kurojika/>

ニックスジャパン KUROJIKI

会社概要

会社名 ニックスジャパン株式会社
所在地 〒111-0042 東京都台東区寿1-10-1 ワタナベビル
電話番号 03-5830-3570
FAX番号 03-5830-3569
e-mail info@nics-japan.com
URL <https://www.nics-japan.com>
設立 1996年7月10日
資本金 1000万円
代表取締役 野口 道孝

業務概要

- マネジメントシステムの企画・開発・販売
 - 【総合建設業者様】
 - ・業務効率化システム(MIYABI)
 - 【専門工事業者様】
 - ・タッチパネル式作業予定システム(e-番割)
 - ・工事日報原価管理システム(KUROJIKI)
 - 各社個別システムの開発
- 建設業のマネジメントの高度化のコンサルティング
 - 事業計画策定支援
 - 会社目標管理構築指導
 - 導入システムの効率的運用支援